

## 2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330341075	こども文化 Child culture	山田禮子	○	専門	1	選択	4前期
<b>科目の概要</b>							
保育や教育に携わる者にとって、様々な地域の子供が、現在どのような環境に置かれ、どのように生活しているのかを知ることは大切である。本授業では、子供の生活上の諸課題を知り、子供を育むための自分なりの方法を模索する。公立学校の教員を38年間務め、国語教育の経験がある。小中学校での授業経験や、国語科指導員として多くの授業を指導した経験を生かした授業を行う。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 文部科学省がまとめる子供に関する調査、新聞等の情報を基に、我が国の子供の状況を認識する。 ② 様々な地域の子供の現状を調べ、課題を考える。 ③ 子供を育むための自分なりの方法を考察する。				① 子供の現状を、調査結果や様々な情報から読み取り、整理して説明できる。 ② 子供の現状と課題について、グループでテーマを設けて調べ、考察し、発表することができる。 ③ 子供を育む方法を、自分なりに考えることができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	到達目標に向けた課題を行うのに必要な知識について、参考文献・資料や文部科学省のデータ等を使って自己学修することができる。					
	働きかけ力						
	実行力	目標達成に向けて、課題を最後までやり抜くことができる。					
考え抜く力	課題発見力	講義や文献、グループ活動等で得た情報を客観的に整理し、課題を見出すことができる。					
	計画力						
	創造力	課題や問題提起に対して、さまざまな方向から柔軟に考え、自分なりの見解を持つことができる。					
チームで働く力	発信力	調べたり、考えたり、話し合ったりしたことを的確な表現で発表することができる。					
	傾聴力	講義や他者の意見をよく聴き、自分の見解を持つことができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻や無断欠席をせず、授業に集中することができ、提出物の期限を守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
各種新聞・文部科学省HP							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
「こども文化」は専門科目、幼・保領域の保育の内容・方法に関する科目の一部である。「保育内容（表現B）」「保育内容（環境）」で獲得した知識・技能を活用する。また、「こども文化」は、その後に履修する「こども表現（図画工作）」の基盤となる科目である							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
子供に関する話題に関心を持ち、各種新聞・文部科学省HPを読んで、自分なりの見解を持つようにする。毎回の授業内容をノートに確実にまとめる。				遅刻3回で欠席1回とする。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①					
				②					
				③					
	小テスト		0	①					
				②					
				③					
	レポート		50	①	✓				課題① 新聞発表に関して、定められた形式に当てはめて感想を書く。（10点） 課題② 「授業ポイント」を整理してまとめる。客観的な数字や比較分析した内容を踏まえ、自身の考えを明記する。（20点） 課題③ 授業で取り上げたテーマを中心に、課題の一つを選び、客観的資料を根拠にして、自分なりの解決策又は問題提起をする。（800字程度20点） ・評価は、内容の理解・客観的根拠の取り上げ方の程度で判断する。
				②	✓				
				③	✓				
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		40	①	✓			発表①新聞記事から、子供に関する課題を見つけ、客観的な資料を基に対応策や問題提起ができる。（10点） 発表②テーマを決めて調べ考察した内容を、パワーポイントにまとめ発表する。（30点） a 発表時間は7分程度、スライドは概ね10枚以内で行う。 b スライドは、テーマ、メンバー・役割分担、テーマ設定の理由、調査資料・文献、調べて得た内容、考察の順で構成する。 c 発表時に、スライドと発表原稿のプリントを提出する。 ・評価観点、aテーマ選定、b調査内容、c考察、d表現・説明		
			②	✓					
			③	✓					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）到達目標に向けた課題を行うのに必要な知識について、参考文献・資料や文部科学省のデータ等を使って自己学修することができる。 （実行力）目標達成に向けて、課題を最後までやり抜くことができる。 （課題発見力）講義や文献、グループ活動等で得た情報を客観的に整理し、課題を見出すことができる。 （創造力）授業内容を受け、自分なりの見解を持つことができる。 （発信力）調べたり、考えたり、話し合ったりしたことを的確な表現で発表することができる。 （傾聴力）講義や他者の意見をよく聴き、自分の見解を持つことができる。 （規律性）授業に集中ことができ、提出物の期限を守ることができる。 ・・・・上記の能力要素のレベルに則り評価する。		
			②	✓					
			③	✓					
総合評価割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
A (優) レポートの課題や発表において、取り上げた資料から課題を正確に見出し、客観的な根拠を示しながら、筋道を立てて意見を示すことができる。併せて、授業態度において社会人基礎力のレベルが6割以上認められる。 S (秀) Aの基準を十分満たしている上に、読み手や聞き手に説得力をもって伝えることができる。また、発表及びグループ活動では、グループの推進力になっている。	B (良) レポートの課題や発表において、取り上げた資料から課題を見つけ、根拠を明確にして、自分らしく意見を示すことができる。併せて、授業態度において社会人基礎力のレベルが4割以上認められる。 C (可) B基準を満たしていない。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・授業の進め方理解する。 ・子供の生活の現状における課題を話し合う。	講義 ディスカッション	・授業の進め方を説明できる。 ・子供の生活上の課題を見つけることができる。	(予習) 学泉ノートを読んで、学修に向かう心構えを確認する。 (復習) 授業を振り返り、ポイントを整理する。	90	規律性
2	・新聞記事から課題を見つけ解決策を発表する。 ・新聞記事からの意見文のまとめ方を理解する。 ・文部科学省「生徒指導上の諸課題」の調査項目より、テーマ選定の視点を学ぶ。	発表 ディスカッション 講義	・子供の現状における諸課題の見つけ方が言える。 ・新聞記事のまとめ方の要領が理解できる。	(予習) 新聞記事を読み、子供に関わる課題を整理する。 (復習) 授業を振り返り、「授業ポイント①」を整理する。(google classroomドキュメントに提出する) ※以下「授業ポイント」は、この方法で提出する。追究しようとするテーマを定める。	90	主体性
3	・新聞記事発表をし、意見交換する。 ・「追究テーマ」を決定し、主題設定の理由を書く。	発表 ディスカッション 提出された追究テーマの解説	・新聞記事発表に対し、自分なりの感想が言える。 ・追究テーマについて、2つ以上の観点で設定理由が書ける。	(予習) 新聞記事を読み、子供に関わる課題を整理する。追究テーマについて説明できるようにする。 (復習) 追究テーマにした主題設定の理由を書く。	100	実行力
4	・新聞記事発表をし、意見交換する。 ・「子供の現状における課題」について調査方法を検討し、資料提示方法を理解する。	発表 ディスカッション 講義	・新聞記事発表に対し、自分なりの感想が言える。 ・資料のまとめ方が理解できる。	(予習) 新聞記事を読み、子供に関わる課題を整理する。資料を探す。 (復習) 追究テーマについて、資料を検索する。	100	主体性
5	・新聞記事発表をし、意見交換する。 ・生徒指導上の諸課題「不登校」「いじめ」について調査結果から読み解き、発表に向けての資料を作る。	発表 ディスカッション 講義 作成	・新聞記事発表に対し、自分なりの感想が言える。 ・収集した資料を読み取り、P. Pにまとめることができる。	(予習) 新聞記事を読み、子供にかかわる課題を整理する。資料を探す。 (復習) 授業を振り返り、「授業ポイント②」を整理する。	100	実行力
6	・新聞記事発表をし、意見交換する。 ・生徒指導上の諸課題「携帯やスマホのリスク」について調査結果から読み解き、発表に向けての資料を作る。	発表 ディスカッション 講義 作成	・新聞記事発表に対し、自分なりの感想が言える。 ・収集した資料を読み取り、P. Pにまとめることができる。	(予習) 新聞記事を読み、子供に関わる課題を整理する。資料を考察する。 (復習) 授業を振り返り、「授業ポイント③」を整理する。	100	傾聴力
7	・新聞記事発表をし、意見交換する。 ・生徒指導上の諸課題「自殺」「虐待」について調査結果から読み解き、発表に向けての資料を作る。	発表 ディスカッション 講義 作成	・資料のまとめ方や発表の工夫が理解できる。 ・発表の流れを考慮しながら、資料にまとめることができる。	(予習) 新聞記事を読み、子供に関わる課題を整理する。資料の順番を考える。 (復習) 授業を振り返り、「授業ポイント④」を整理する。	100	課題発見力
8	・新聞記事発表をし、意見交換する。 ・過去の発表例から、資料のまとめ方や発表の仕方を最終点検する。	発表 ディスカッション 講義 作成	・資料のまとめ方や発表の工夫が理解できる。 ・発表の流れを考慮しながら、発表の準備が整う。	(予習) 新聞記事を読み、子供に関わる課題を整理する。発表原稿を作る。 (復習) 今までの新聞発表のまとめをする。(googleclassroomドキュメントにより提出する) ※採点し返却する時にコメントでフィードバックする。	100	規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・「こども文化」第1グループの発表を行う。 ・発表の評価を行う。	発表 ディスカッション	・制限時間内に、筋道を立て発表できる。 ・本日の発表における「こども文化」について自分なりの考えをまとめることができる。	(予習) 本日のテーマについて、自分の考えを整理する。 (復習) 授業を振り返り、「授業ポイント⑤」を整理する。	120	課題発見力
10	・「こども文化」第2グループの発表を行う。 ・発表の評価を行う。	発表 ディスカッション	・制限時間内に、筋道を立て発表できる。 ・本日の発表における「こども文化」について自分なりの考えをまとめることができる。	(予習) 本日のテーマについて、自分の考えを整理する。 (復習) 授業を振り返り、「授業ポイント⑥」を整理する。	120	創造力
11	・「こども文化」第3グループの発表を行う。 ・発表の評価を行う。	発表 ディスカッション	・制限時間内に、筋道を立て発表できる。 ・本日の発表における「こども文化」について自分なりの考えをまとめることができる。	(予習) 本日のテーマについて、自分の考えを整理する。 (復習) 授業を振り返り、「授業ポイント⑦」を整理する。	60	発信力
12	・「こども文化」第4グループの発表を行う。 ・発表の評価を行う。	発表 ディスカッション	・制限時間内に、筋道を立て発表できる。 ・本日の発表における「こども文化」について自分なりの考えをまとめることができる。	(予習) 本日のテーマについて、自分の考えを整理する。 (復習) 授業を振り返り、「授業ポイント⑧」を整理する。	60	発信力
13	・「こども文化」第5グループの発表を行う。 ・発表の評価を行う。	発表 ディスカッション	・制限時間内に、筋道を立て発表できる。 ・本日の発表における「こども文化」について自分なりの考えをまとめることができる。	(予習) 本日のテーマについて、自分の考えを整理する。 (復習) 授業を振り返り、「授業ポイント⑨」を整理する。	60	発信力
14	・「こども文化」第6グループの発表を行う。 ・発表の評価を行う。	発表 ディスカッション	・制限時間内に、筋道を立て発表できる。 ・本日の発表における「こども文化」について自分なりの考えをまとめることができる。	(予習) 本日のテーマについて、自分の考えを整理する。 (復習) 授業を振り返り、「授業ポイント⑩」を整理する。	60	発信力
15	・「こども文化」について、授業を振り返り、課題となる観点を明確にまとめる。	発表されたテーマについてのフィードバック 記録	・授業を振り返り、子供の現状について課題を見出し800字にまとめることができる。	(予習) 各テーマについて、自分の考えを整理する。 (復習) 授業を振り返り、整理してまとめる。	60	課題発見力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力